



## 2026年5月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(非連結)

2026年1月8日

上場会社名 メディアファイブ株式会社  
 コード番号 3824 URL <https://www.media5.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 活  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 川上 隆幸  
 半期報告書提出予定日 2026年1月9日  
 配当支払開始予定日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福  
 TEL 092-762-0555

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年5月期第2四半期(中間期)の業績(2025年6月1日～2025年11月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
2026年5月期中間期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期中間期	886		29		29		18	
	1株当たり中間純利益				潜在株式調整後 1株当たり中間純利益			
2026年5月期中間期					円 銭			
2025年5月期中間期					19.23			

(注) 当社は、2025年5月期第3四半期から非連結での業績を開示しております。

そのため、2026年5月期第2四半期(中間期)の経営成績(累計)及び対前年同中間期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年5月期中間期	百万円		百万円		百万円	%
2025年5月期	724		386		373	53.4

(参考)自己資本 2026年5月期中間期 386百万円 2025年5月期 373百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年5月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年5月期		0.00		5.00	5.00
2026年5月期(予想)		0.00			5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年5月期の業績予想(2025年6月1日～2026年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年5月期中間期	986,000 株	2025年5月期	986,000 株
期末自己株式数	2026年5月期中間期	46,000 株	2025年5月期	46,000 株
期中平均株式数(中間期)	2026年5月期中間期	940,000 株	2025年5月期中間期	940,000 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当社は、前事業年度より非連結決算に移行し、当中間会計期間は中間連結財務諸表を作成していないため、前年同中間期の数値及びこれに係る前年同中間期増減率等の比較分析は行っておりません。

当中間会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要により、国内景気は引き続き緩やかな回復傾向が継続しております。一方で、世界的な物価上昇、金融資本市場の変動、アメリカの通商政策の影響等、経済活動に急激な影響を与える要因が払拭されておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する情報サービス業界においては、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）に対する投資需要は継続しており、社会全体としてIT活用の流れが一層増加し、慢性的にIT人材が不足している状況にあります。

このような環境の中、当社では、2024年3月に東京支店を銀座から秋葉原へ移転し、ITエンジニア育成研修の拡大を目指し、「アキバ・テックドリーム・アカデミー」を開校、未経験者や新規学卒者を積極的に採用し、育成に注力しております。また、技術力の向上、ワークライフバランスの向上を図ることで、優秀な人材の囲い込みを図っております。加えて子育て世代の両立支援をはじめ、誰もが働きやすい職場づくりの一環として「メディアファイブ保育園薬院」の運営も行っており、地域貢献度の向上にも寄与しております。

主要事業であるSES事業は、ITエンジニアの需要が高まっていることを背景として、新規取引先の獲得及び既存取引先における契約単価交渉を行ってまいりました。

ソリューション事業は、前事業年度に引き続き、安定的にシステム開発案件を受注しております。引き続き、中小企業のITを支援する「OFFICE DOCTOR」サービスを軸にワンストップ型ソリューション提案を推し進めております。

以上の結果、当中間会計期間の業績は、売上高886,794千円、売上総利益314,370千円、営業利益29,380千円、経常利益29,642千円、中間純利益18,076千円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### ① SES事業

主要事業であるSES事業は、高度IT人材の育成、技術力向上に注力するとともに、取引先への契約単価交渉や戦略的な配置転換を行ってまいりました。その結果、当中間会計期間における売上高は826,158千円、セグメント利益は214,371千円となりました。

#### ②ソリューション事業

ソリューション事業は、前事業年度に引き続き、中規模・小規模のシステム開発案件の受注、中小企業のITを支援する比較的ライトな「OFFICE DOCTOR」サービスの提供を安定的に行っております。また、今後の業容拡大を目指し営業活動に注力してまいりました。その結果、当中間会計期間における売上高は60,636千円、セグメント損失は2,206千円となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

### 資産・負債・純資産の状況

#### (資産)

当中間会計期間末の資産合計は724,510千円（前事業年度末は700,239千円）、うち流動資産585,212千円（同569,122千円）、固定資産139,298千円（同131,117千円）となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金387,997千円（同388,954千円）、売掛金162,988千円（同147,137千円）、契約資産10,439千円（同8,508千円）等であります。固定資産については、有形固定資産23,620千円（同15,146千円）、無形固定資産13,892千円（同16,199千円）、保険積立金21,305千円（同21,305千円）、敷金及び保証金35,371千円（同36,048千円）、繰延税金資産36,299千円（同33,543千円）等であります。

#### (負債)

当中間会計期間末の負債合計は337,730千円（同326,836千円）、うち流動負債259,490千円（同239,236千円）、固定負債78,240千円（同87,600千円）となりました。

その主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金18,720千円（同18,720千円）、未払金11,428千円（同13,805千円）、未払費用134,756千円（同120,853千円）、未払法人税等19,747千円（同6,590千円）、未払消費税等26,594千円（同26,852千円）、預り金31,284千円（同32,196千円）等であります。固定負債については、長期借入金78,240千円（同87,600千円）であります。

#### (純資産)

当中間会計期間末の純資産合計は386,779千円（同373,403千円）となりました。

その主な内訳は、配当金4,700千円の支払による減少及び中間純利益18,076千円の計上による増加であります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月10日に公表いたしました2026年5月期通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年1月8日）公表の「2026年5月期第2四半期（中間期）業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年5月31日)	当中間会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	388,954	387,997
売掛金	147,137	162,988
契約資産	8,508	10,439
仕掛品	2,891	509
貯蔵品	261	256
未収入金	6,970	8,950
前払費用	10,388	9,863
その他	4,635	4,823
貸倒引当金	△625	△614
流動資産合計	569,122	585,212
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	15,146	23,620
無形固定資産	16,199	13,892
投資その他の資産		
長期前払費用	1,996	2,297
保険積立金	21,305	21,305
敷金及び保証金	36,048	35,371
従業員に対する長期貸付金	862	496
繰延税金資産	33,543	36,299
その他	6,014	6,014
投資その他の資産合計	99,771	101,785
固定資産合計	131,117	139,298
<b>資産合計</b>	700,239	724,510
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	4,673	1,926
1年内返済予定の長期借入金	18,720	18,720
未払金	13,805	11,428
未払費用	120,853	134,756
未払法人税等	6,590	19,747
未払消費税等	26,852	26,594
契約負債	14,479	13,670
預り金	32,196	31,284
その他	1,064	1,362
流動負債合計	239,236	259,490
<b>固定負債</b>		
長期借入金	87,600	78,240
固定負債合計	87,600	78,240
<b>負債合計</b>	326,836	337,730
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	198,925	198,925
資本剰余金	164,625	164,625
利益剰余金	18,676	32,052
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	373,403	386,779
<b>純資産合計</b>	373,403	386,779
<b>負債純資産合計</b>	700,239	724,510

## (2) 中間損益計算書

(単位：千円)

当中間会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)	
売上高	886,794
売上原価	572,424
売上総利益	314,370
販売費及び一般管理費	284,989
営業利益	29,380
営業外収益	
受取利息	169
保育事業収益	23,937
雑収入	876
営業外収益合計	24,983
営業外費用	
支払利息	661
保育事業費用	24,060
営業外費用合計	24,721
経常利益	29,642
税引前中間純利益	29,642
法人税、住民税及び事業税	14,322
法人税等調整額	△2,756
法人税等合計	11,565
中間純利益	18,076

## (3) 中間財務諸表に関する注記事項

## (セグメント情報等の注記)

当社は、前事業年度より非連結決算に移行し、当中間会計期間は中間連結財務諸表を作成していないため、比較情報を記載しておりません。

当中間会計期間（自 2025年6月1日 至 2025年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	S E S事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	826,158	60,636	886,794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	826,158	60,636	886,794
セグメント利益又は損失 (△)	214,371	△2,206	212,165

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	212,165
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△182,784
中間損益計算書の営業利益	29,380

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。